
公益社団法人日本交通政策研究会

シンポジウム

自動車の保有と利用の最新動向

～調査体系のあり方と内外の比較検討～

平成 25 年 1 月

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、公益社団法人日本交通政策研究会では、下記のとおりシンポジウムを開催いたしますので、ご関心をお持ちの皆様のご出席を賜りますようご案内申し上げます。

1. 開催趣旨

少子高齢化の進行や経済状況の低迷などから、わが国の自動車需要は伸び悩み、保有台数も走行距離も減少時期を迎えつつある。それ故、自動車産業にとっても、道路インフラ整備からも今後の動向を見据えることの重要性が増しているといえよう。一方で、若者のクルマ離れや軽自動車シフトなど、自動車の保有や利用について、詳細な情報を有する調査により、質的な側面から分析を行うニーズも高まっている。

本シンポジウムでは、最新の調査結果（2010年道路交通センサス、3時点に及ぶ車の保有と利用パネル調査、OECD会議における国外統計データ など）を元に、保有と利用に関わる最新動向を紹介すると共に今後の調査体系についても若干の議論を行う。

2. 開催日時 平成 25 年 3 月 13 日（水）13:00 開始

3. 開催場所 都市センターホテル（日本都市センター会館内） 7F 706号室

東京都千代田区平河町2-4-1 TEL: 03-3265-8211

アクセス：有楽町線 [麴町駅] 1番出口（半蔵門方面出口）より徒歩約4分
有楽町線・半蔵門線「永田町駅」4番・5番出口より徒歩約4分
南北線「永田町駅」9番出口より徒歩約3分
丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」より徒歩約8分
JR「四谷駅」麴町口より徒歩14分

4. 主 催 公益社団法人日本交通政策研究会

5. 参加費 無料

6. お申し込み

会場の入場者数には限りがございますので、おそれいりますが、当研究会ホームページ（<http://www.nikkoken.or.jp/>）から3月8日までにお申し込みください。

*定員に達しましたら、締め切らせて頂きます。

7. プログラム

- 13:00~13:10 開会挨拶
森本章倫氏(当研究会常務理事、宇都宮大学大学院工学研究科教授)
- 13:10~13:40 基調報告1
自動車の保有と利用に関わる調査と海外の動向
兵藤 哲朗氏(東京海洋大学 教授)
- 13:40~14:10 基調報告2
道路交通センサスから見た自動車利用特性について
吉岡 幹夫氏(国土交通省道路局企画課道路経済調査室 室長)
- 14:10~14:40 基調報告3
自動車の保有と利用に関する世帯パネルデータから
福田 大輔氏(東京工業大学 准教授)
- 14:40~15:10 基調報告4
乗用車市場動向調査について
持田 弘喜氏((一社)日本自動車工業会 調査役)
- 15:10~15:50 フロアを交えた討議
司会 兵藤 哲朗氏
+話題提供者を交えて

- * 話題提供者との質疑応答を予定しております。
- * プログラムは予告なく変更される場合があります。

お問い合わせ先 公益社団法人日本交通政策研究会 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-12-6 守住ビル 4階 TEL : 03-3263-1945 E-mail : event@nikkoken.or.jp FAX : 03-3234-4593 Website : http://www.nikkoken.or.jp/
--